

静岡英和学院大学 静岡英和学院大学短期大学部

2011

公開講座

テーマ

今を生きる



Yahoo地図 《<http://maps.loco.yahoo.co.jp/>》より転載

7/9・16 (各土曜日)

13:20~14:50

会場:静岡市民文化会館 2階
第一会議室

バス:「静岡駅前20番乗り場」乗車
「市民文化会館入口」下車

※各回ともに、受付開始は13:00です。

※お車でご来場の方は、各会場の有料駐車場、または周辺の駐車場をご利用ください。

10/8・22・29、11/19
(各土曜日) 13:20~14:50

会場:ベガサート6階
プレゼンテーションルーム

主催者・お問い合わせ先

〒422-8545 静岡市駿河区池田1769番地 静岡英和学院大学 公開講座委員会
担当課:学務課 ☎(054)264-8874(学務課直通) fax(054)261-4238

講座の詳細

☆ 各回 土曜日 13:20~14:50

■ 事前申し込みは不要です。料金は無料です。当日、直接会場へお越しください。

回・実施日	講師	内容
第1回 7月9日 (土曜日)	食物学科 准教授 前田 節子	白米と赤米のお話し イネゲノムが完全解読され、白米は赤米の変異により生まれたことがわかりました。また、赤米はタンニン系色素の含有量が高く、機能性に富むことも明らかになってきました。本授業では、主に赤米の歴史や機能性などを紹介します。
第2回 7月16日 (土曜日)	コミュニティ福祉学科 教授 佐藤 仁之	「社会保障と税の一体改革」について 少子高齢化が進む日本。年金・医療・介護・子育て等の社会保障費は、今後も毎年1兆程度増えることが見込まれています。国の財政は、歳入の半分は国債の発行つまり借金に頼っているのが現状です。今後社会保障制度をどのようにして維持していくかが問われています。そこで、今年6月に政府で取り纏められる予定の「社会保障と税の一体改革」について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
第3回 10月8日 (土曜日)	人間社会学科 教授 飯山 昌弘	「里山」について考える 昨年、このテーマは台風で中止になりました。今年、改めて再挑戦です！ 日本人の心の里ともいえる「里山」について、現代の社会構造の観点からその存在意義を考えてみようと思います。里山保全の最善策は、社会が里山を必要とする社会に変わることです。 日本社会の質の転換へ向けて、里山を手がかりに接近してみます。
第4回 10月22日 (土曜日)	現代コミュニケーション学科 講師 児玉 和人	転換期の戦後日本経済と中小企業 戦後日本は、高い経済成長を遂げてきたが、その成長には中小企業の果たした役割が大きい。そこで産業構造の変化にともない中小企業が今後どのような試みをしていくのか、その展望を考えていきたい。
第5回 10月29日 (土曜日)	コミュニティ福祉学科 教授 青山 登志夫	「コミュニティの『福祉化』を進めるために」 ～静岡市の福祉施策の現状と方向性～ 福祉を必要としている高齢者や障害者等は、様々な福祉・介護サービスを利用しながらコミュニティの一員として地域生活を送っています。静岡市の福祉のまちづくりを進めるにはどのような考え方が必要かを考えます。
第6回 11月19日 (土曜日)	人間社会学科 講師 今井 亨	言語力・日本語力・国語力 言葉の乱れ・言語技術・敬語の新5分類・常用漢字・学力低下・伝統的な言語文化……われわれを取りまく言葉の環境はますます複雑化しています。「日本語ブーム」と教育との関わりについて考えたいと思います。